

## Biz Clip調査レポート(第49回)

## 企業のビジネスチャット利用実態調査2024

2024.11.15

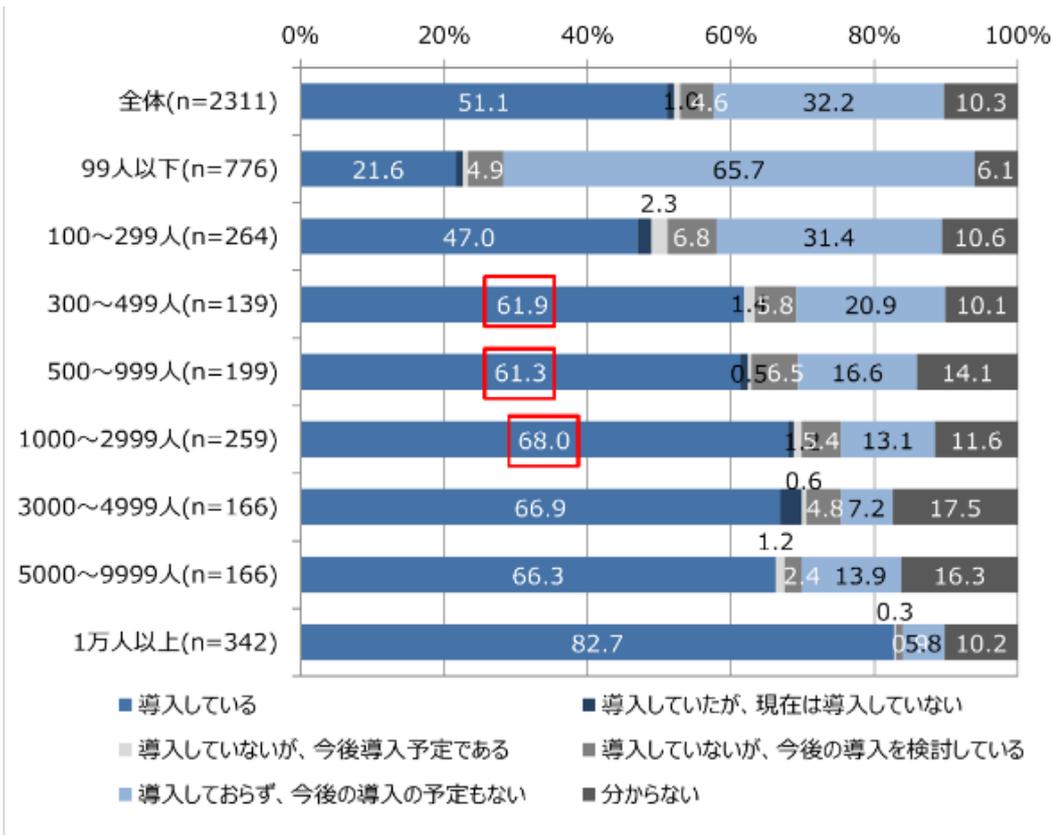


多様化する社内外のコミュニケーション円滑化に向けて利用される「ビジネスチャット」。企業における活用度合いやツール選定はどうなっているのだろうか。その現在地について、日経BPコンサルティングが2024年10月に実施した調査からひも解いていきたい(調査は同社のアンケートシステムにて調査モニター3300人を対象に調査を実施)。

## 中堅・中小企業のビジネスチャット導入が大きく躍進

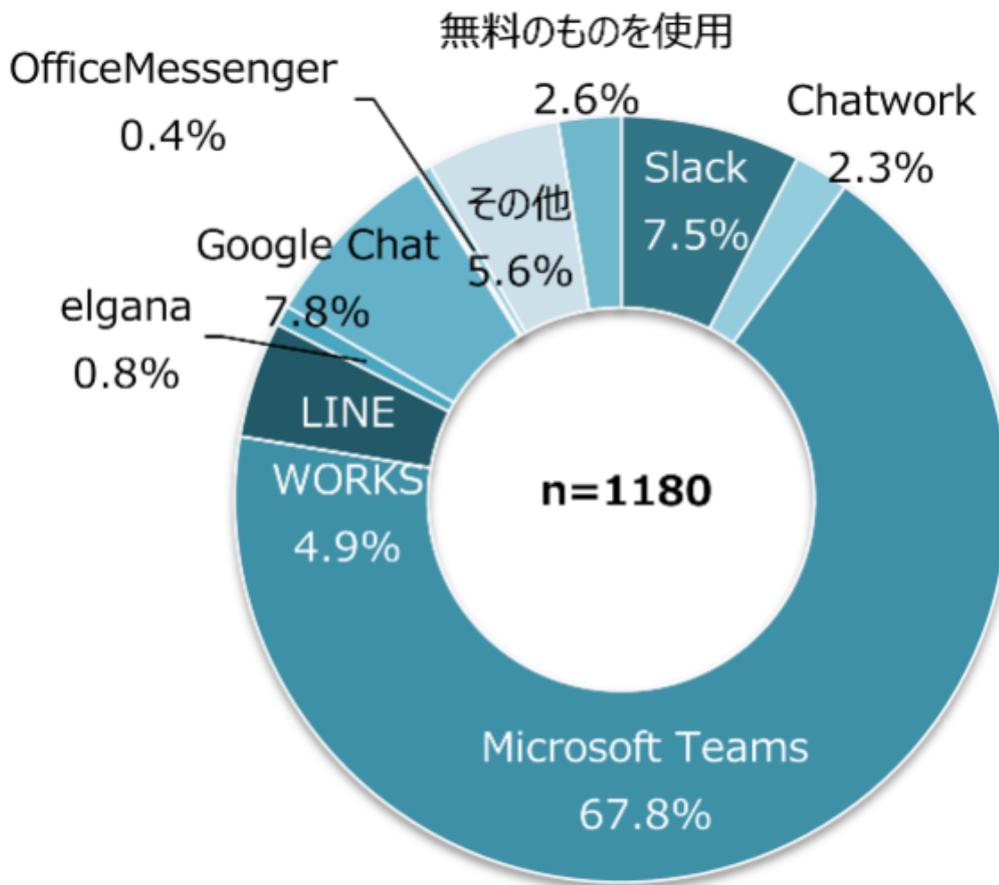
まず、ビジネスチャットの勤務先導入状況について尋ねた。全体として「導入している」と答えたのは51.1%(前回調査から8ポイント増加)、「導入予定なし」が32.2%という結果に。従業員規模別に見ると、導入比率は99人以下の企業では21.6%、1万人以上の企業では82.7%と増加傾向にある。今回顕著であったのが500~499人、500~999人、1000~2999人規模の企業での大幅な導入増加だ。前回から比べて、それぞれ32.2ポイント、20.8ポイント、22.4ポイントの増加という結果となった(図1)。

【図1 ビジネスチャットの導入について】(複数回答)



次に「導入済み」と回答した層に、メインで使用するビジネスチャットが何かを聞いた。1位は「Microsoft Teams」(67.8%)、2位に「Google Chat」(7.8%)、3位は「Slack」(7.5%)が続いた。これら以外には、「LINE WORKS」(4.9%)、「Chatwork」(2.3%)が続いた(図2)。同項目の自由回答欄には、例えば「自社開発アプリ」や「独自開発」に加え、Z世代などで浸透しつつある「Discord」などの回答もあり、選択肢となるビジネスチャットの種類が増加していることもうかがえる。

【図2 メインで使用しているビジネスチャット】



ビジネスパーソンの8割超がビジネスチャットを業務活用… 続きを読む